

5/3,AB/1
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2002 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

010431682

WPI Acc No: 1995-333002/ 199543

Retainer of sink for washing chamber - has slot in second fixture for
adjustment during installation of sink

Patent Assignee: MATSUSHITA DENKI SANGYO KK (MATU)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 7229188	A	19950829	JP 9422277	A	19940221	199543 B

Priority Applications (No Type Date): JP 9422277 A 19940221

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 7229188	A		6	E03C-001/322	

Abstract (Basic): JP 7229188 A

The retainer of sink has a fastening device which fixes the sink.
The fastening device consists of a fixture (20) of monotonous state
with the hole (24) to which the outlet part of sink is inserted.

A second fixture (21) of L-shape is a slot (26) with which the
first fixture is united by a screw (22) and a nut (23). The fixture is
fixed to the sink installation surface by a slot (25). As a result,
both slots act as a sliding mechanism.

USE/ADVANTAGE - In e.g. housework chamber. Fixes sink easily even
if size of sink varies.

Dwg.2/9

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-229188

(43) 公開日 平成7年(1995)8月29日

(51) IntCl⁴

識別記号

片内整理番号

F I

技術表示箇所

E 0 3 C 1/322

7150-2D

A 4 7 K 1/04

1/05

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平6-22277

(22) 出願日 平成6年(1994)2月21日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 森 敏彦

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

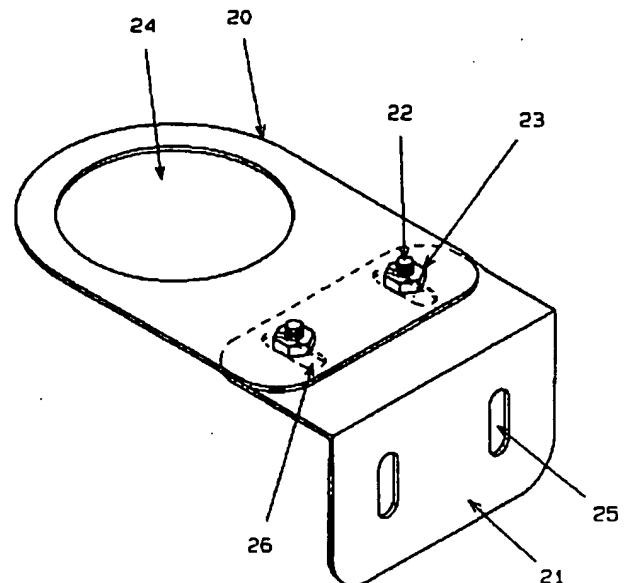
(74) 代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

(54) 【発明の名称】 シンクの固定装置

(57) 【要約】

【目的】 シンクの寸法がばらついても、シンクを確実に簡単に固定することができるシンクの固定装置を提供することを目的とするものである。

【構成】 シンクを固定する固定具は、シンクの排水口部を挿入する穴24をもった平板状の第一の取付具20と、略L字形状とした第二の取付具21とを備えている。そして、前記第二の取付具21は前記第一の取付具20をネジ22とナット23により結合する長穴26と、シンク取付面に固定するための長穴25を有する。これにより、固定具により固定するシンクの寸法がばらついても前記長穴25、26がスライド機構として作用し、シンクを容易に固定することができるものである。



20 第一の取付具 21 第二の取付具

24 穴 25, 26 長穴

【特許請求の範囲】

【請求項1】 シンクと、シンクの排水口部を挿入する穴を有する平板状の第一の取付具と、第一の取付具とネジ結合しシンク取付面にネジ止めする略し字形状の第二の取付具とを備え、前記第一、第二の取付具の少なくとも一方のネジ結合部および第二の取付具のシンク取付面へのネジ止め部にはそれぞれ長穴を設け、前記シンクを第一、第二の取付具を介し長穴による取り付け調整してシンク取付面に固定したシンクの固定装置。

【請求項2】 シンクと、シンクの排水口部を挟み込む幅を有し両端部にネジ部を有した略U字形の固定具とを備え、前記固定具の両端部をシンク取付面に固定してシンクをシンク取付面に固定したシンクの固定装置。

【請求項3】 背面下部にスカート部を有するシンクと、前記スカート部を抑える段部とネジ止め用の長穴を有したスカート部とを有する固定具とを備え、前記固定具をシンク取付面にネジ止めしてシンクのスカート部を固定したシンクの固定装置。

【請求項4】 背面下部に逆U字形の複数の切り込みをもったスカート部を有するシンクと、このシンクをシンク取付面に固定する止め具とを備え、この止め具により切り込みを介してシンクをシンク取付面に固定したシンクの固定装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、洗面室または家事室等に設置して使用するシンクの固定装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のシンクの取付構成について説明する。図8、図9に示すように、磁器製のシンク1は、その背面上部をシンク取付面2にボルト3・ナット4を使用して固定している。またシンク1の背面下部は略し字形状を有した固定具5により固定している。固定具5はその一方にシンク1の排水口6部分の外周径より大きい穴7を、また他方には長穴8を数カ所備えている。そして、長穴8部分にはシンク1の前後方向の寸法ばらつきを吸収するためにシンク取付面2との間にスペーサ9を挿入し、ネジ10、ナット11で締め付けて固定している。

【0003】すなわち、シンクの固定順序は、まずシンク1の背面上部を、ボルト3・ナット4によってシンク取付面2に固定する。次いで固定具5の穴7を排水口6部に引っ掛け、長穴8にネジ10・ナット11を使用して固定具5をシンク取付面2側に引き込むように固定する。このときシンク固定具5と取付面2との間に隙間が生じた場合は、スペーサ9を数枚挿入して調整する。また、シンク1の上下方向の寸法ばらつきは、長穴8の寸法設定を必要なだけ大きくして吸収している。つまり、

【0004】

【発明が解決しようとする課題】前記従来のシンクの固定装置は、前述しているようにシンク1の寸法ばらつきがあって、固定具5とシンク取付面2との間にスペーサ9を数枚挿入しなければならないもので、固定作業が非常に煩雑なものとなっている。また、シンク1の寸法が小さい方にばらついた場合、穴7で排水口6部を引っかけることができず、固定具5でシンク1を固定することができないことも生じるものである。

【0005】本発明はこのような従来の構成の課題を解決しようとするもので、シンクの寸法が前後方向・上下方向にばらついたとしても、シンクを確実に簡単に固定することができるシンクの固定装置を提供することを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するための本発明の第一の手段は、シンクと、シンクの排水口部を挿入する穴を有する平板状の第一の取付具と、第一の取付具とネジ結合しシンク取付面にネジ止めする略し字形状の第二の取付具とを備え、前記第一、第二の取付具の少なくとも一方のネジ結合部および第二の取付具のシンク取付面へのネジ止め部にはそれぞれ長穴を設け、前記シンクを第一、第二の取付具を介し長穴による取り付け調整してシンク取付面に固定したシンクの固定装置とするものである。

【0007】本発明の第二の手段は、シンクと、シンクの排水口部を挟み込む幅を有し両端部にネジ部を有した略U字形の固定具とを備え、前記固定具の両端部をシンク取付面に固定してシンクをシンク取付面に固定したシンクの固定装置とするものである。

【0008】本発明の第三の手段は、背面下部にスカート部を有するシンクと、前記スカート部を抑える段部とネジ止め用の長穴を有したスカート部とを有する固定具とを備え、前記固定具をシンク取付面にネジ止めしてシンクのスカート部を固定したシンクの固定装置とするものである。

【0009】本発明の第四の手段は、背面下部に逆U字形の複数の切り込みをもったスカート部を有するシンクと、このシンクをシンク取付面に固定する止め具とを備え、この止め具により切り込みを介してシンクをシンク取付面に固定したシンクの固定装置とするものである。

【0010】

【作用】本発明の第一の手段は、第一の取付具と第二の取付具間および第二の取付具とシンク取付面が長穴を介してスライド可能であるため、ここでシンクの寸法ばらつきを吸収して確実にシンクを固定することができる。

【0011】本発明の第二の手段は、略U字形とした固定具の両端部のネジ部が、シンクの寸法ばらつきを吸収するように作用するものである。

部を抑える段部とネジ止め用の長穴を有したスカート部とを有する固定具がシンクの寸法ばらつきを吸収するように作用するものである。

【0013】また本発明の第四の手段は、逆U字形の切り込みを有したシンクのスカート部を、前記切り込みを介してシンク取付面に固定することにより、シンク自体で寸法ばらつきを吸収するものである。

【0014】

【実施例】以下、本発明の第一の手段の実施例について説明する。図1で説明しているシンク1の構成は従来のシンクと同一構成としているものである。シンク1の背面下部を固定する固定具27は、図2に説明しているような構成となっている。すなわち、本実施例の固定具27は、シンク1の排水口6部の外径より大きい穴24を有する平板状の第一の取付具20と、第一の取付具20とネジ22とナット23により結合されシンク取付面2にネジ10・ナット11により固定する略L字形の第二の取付具21とを備えている。また前記第一、第二の取付具20、21の少なくとも一方のネジ結合部（この実施例では第二の取付具20のネジ結合部）および第二の取付具20のシンク取付面2へのネジ止め部にはそれぞれ長穴26、25を複数設け、前記シンク1を第一、第二の取付具20、21を介し長穴26、25による取り付け調整してシンク取付面2に固定しているものである。

【0015】以下、本実施例の固定具27を使用してシンク1を固定するやり方について説明する。先ず従来例と同様、シンク1の背面上部の複数箇所をネジ3・ナット4を使用して、シンク取付面2に固定する。次いでネジ結合された第一の取付具20と第二の取付具21、すなわちシンクの固定具27を取付ける。つまり穴24にシンク1の排水口6部を引っ掛け、他方の長穴25を使用してシンク取付面2にネジ10・ナット11で固定するものである。このときシンク1の前後方向の寸法がばらついて、シンク取付面2への取付ができない場合には、ナット23とネジ22を緩めて第二の取付具21の位置を長穴26を使用して調整して、再び締めようとするものである。つまり、第二の取付具21の位置をスライドさせて調整するわけである。また、シンク1の上下方向の寸法ばらつきは、長穴25を使用することによって吸収することができるものである。以上のようにして、シンク1はシンク取付面2に固定されるものである。

【0016】このように本実施例の固定具27は、シンク1の寸法が前後方向・上下方向にばらついても容易にシンク取付面2に固定することができるものである。

【0017】次に本発明の第二の手段の実施例について説明する。図3に示しているシンク1の構成は、前記実施例と同様、図8で説明している従来のものと同一であ

定しているシンクの固定具で、図4に示した形状としている。すなわち、シンク1の排水口6部を挟み込む幅を有し、両端部にネジ部32を有した略U字形状としているものである。ネジ部32には、ワッシャ31・ナット33を装備している。なお、図示していないが本実施例で使用するシンク取付面2には長穴を設けており、この長穴に前記固定具30のネジ部33を挿入しワッシャ31・ナット33を使用して固定するようになっている。

【0018】以下、本実施例の固定具30を使用してシンク1を固定するやり方について説明する。先ず従来例と同様、シンク1の背面上部の複数箇所をボルト3・ナット4を使用して、シンク取付面2に固定する。次いでシンクの固定具30を排水口6部に引っ掛け、両端のネジ部33をシンク取付面2に設けている長穴に通し、ワッシャ31を介してナット33を締め込んでシンク1の下部を固定するものである。このときシンク1の前後方向に寸法ばらつきが存在しても、ナット33の締め込み具合で調整できる。また、シンク1の上下方向の寸法のばらつきに対してはシンクの固定具30をシンク取付面2が有している長穴内を上下にスライドさせて調整する。

【0019】このように本実施例は、簡単な構成でシンク1の寸法が前後方向・上下方向にばらついてもシンク1を確実に固定することができるものである。

【0020】次に本発明の第三の手段の実施例について説明する。図5は本実施例のシンクの固定具42を使用したシンク40を示している。本実施例ではシンク40は、シンク取付面2と接する背面下部の複数箇所にスカート部41を有している。またシンクの取付具42は、図6に示すような形状となっている。すなわち、前記スカート部41を抑える段部43と、シンク取付面2に接するスカート部45とを有している。このスカート部45は、シンク取付面2にネジ・ナット等の止め具53を使用して固定するための複数の長穴44を有している。

【0021】以下本実施例のシンクの固定具42を使用して、シンク40を固定するやり方について説明する。先ずシンク40の上部を、ボルト3・ナット4を使用してシンク取付面2に固定する。次いでシンクの固定具42を、段部43でシンクのスカート部41を抑える状態でスカート部45をシンク取付面2に沿わせる。この状態で、長穴44を介してシンク取付面2にネジ10・ナット11を使用して固定する。このときシンク40の上下方向の寸法ばらつきに対しては、長穴44によりシンクの固定具42をスライドさせて調整する。また前後方向の寸法のばらつきは、固定具42を上下方向にずらすことによって、最も影響の少ない位置を選択することによって吸収するものである。

【0022】次に本発明の第四の手段の実施例について図7に基づいて説明する。本実施例ではシンク50の背

5

のスカート部51を設けているものである。

【0023】以下本実施例の、シンク50の固定のやり方について説明する。シンク50の背面上部を従来と同様に、ボルト・ナットを使用してシンク取付面2に固定する。次いでスカート部51の切り込み52を使用して、シンク取付面2に止め具としてネジ10・ナット(図示せず)を用いて固定するものである。このときシンク50の寸法が上下方向にばらついても、切り込み52によって調整できるものである。また本実施例はシンク50を直接固定するものであるため、シンク50の前

【0024】

【発明の効果】本発明の第一の手段は、本発明の第一の手段は、第一の取付具と第二の取付具間および第二の取付具とシンク取付面が長穴を介してスライド可能であるため、ここでシンクの寸法ばらつきを吸収して確実にシンクを固定することができる装置を提供しているものである。

【0025】本発明の第二の手段は、略U字形とした固定具の両端部のネジ部が、シンクの寸法ばらつきを吸収するように作用するもので、固定具そのものが簡単な装置を提供しているものである。

【0026】本発明の第三の手段は、シンクのスカート部を抑える段部とネジ止め用の長穴を有したスカート部とを有する固定具がシンクの寸法ばらつきを吸収するように作用するものであり、とくにシンクの上下方向のばらつきを容易に吸収することができる装置を提供しているものである。

【0027】また本発明の第四の手段は、逆U字形の切り込みを有したシンクのスカート部を、前記切り込みを

6

介してシンク取付面に固定することにより、シンク自体で寸法ばらつきを吸収するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一の手段の実施例を使用したシンクの縦断面図

【図2】本発明の第一の手段の実施例を示すシンクの固定具の斜視図

【図3】本発明の第二の手段の実施例を使用したシンクの縦断面図

10 【図4】本発明の第二の手段の実施例を示すシンクの固定具の斜視図

【図5】本発明の第三の手段の実施例を使用したシンクの縦断面図

【図6】本発明の第三の手段の実施例を示すシンクの固定具の斜視図

【図7】本発明の第四の手段の実施例を示すシンクの正面図

【図8】従来のシンクの固定装置を示す断面図

【図9】従来のシンクの固定具を示す斜視図

20 【符号の説明】

1、40、50 シンク

2 シンク取付面

3、10、22 ネジ

411、23 ナット

20 第一の取付具

21 第二の取付具

24 穴

25、26、44 長穴

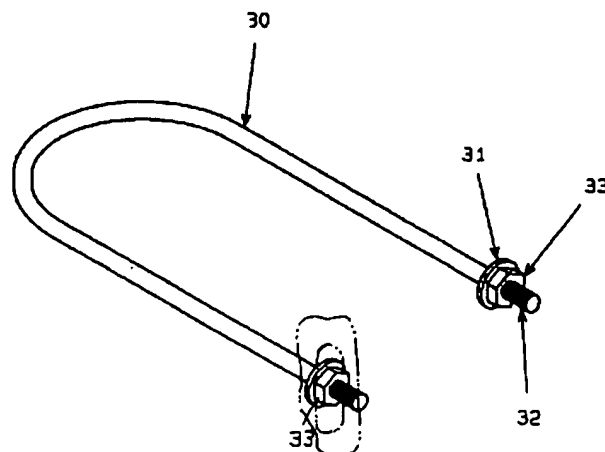
27、30、42 固定具

30 32 ネジ部

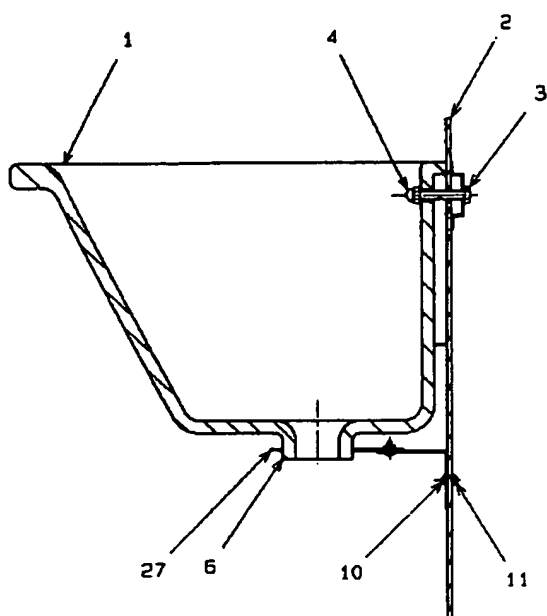
41、51 スカート部

43 段部

【図4】

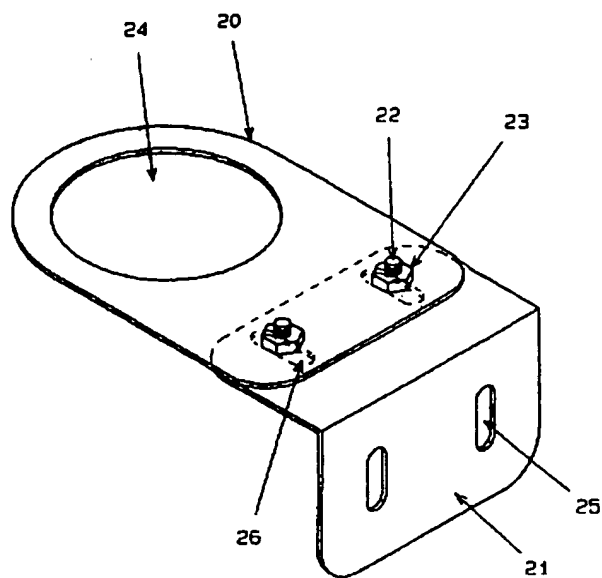


【図1】



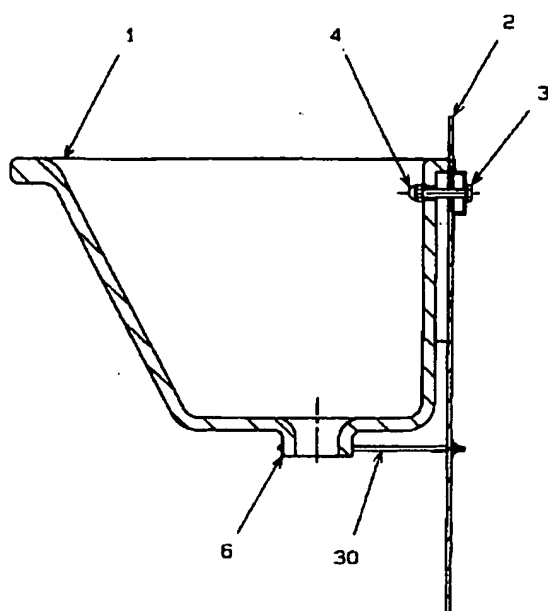
1 シンク 2 シンク取付面
6 排水口 27 固定具

【図2】



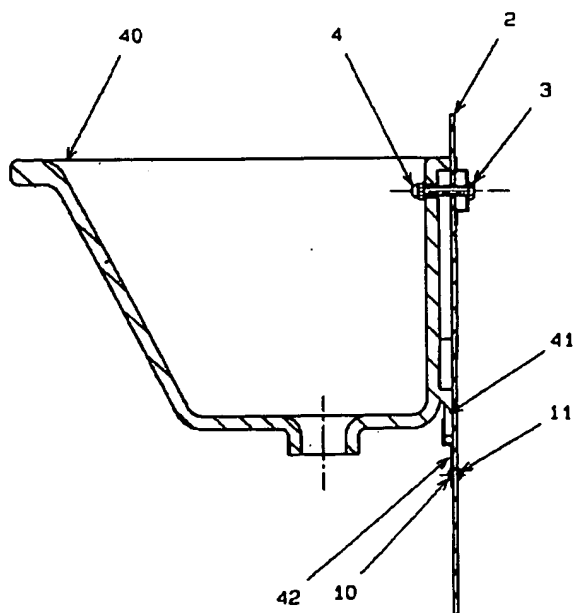
20 第一の取付具 21 第二の取付具
24 穴 25, 26 長穴

【図3】



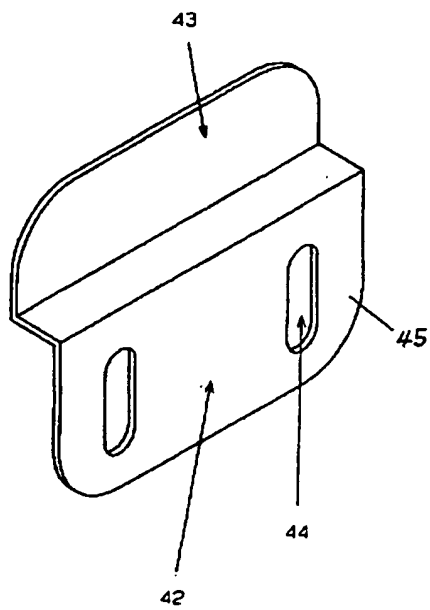
30 固定具

【図5】



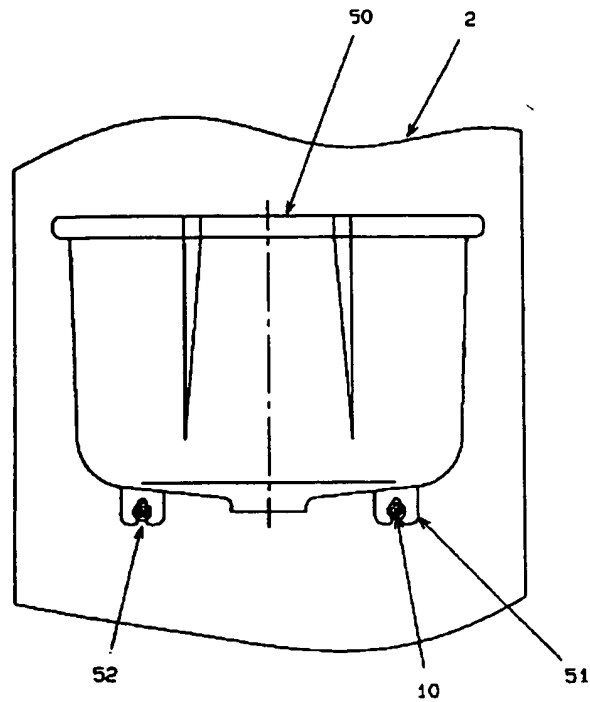
40 シンク 42 固定具

【図6】



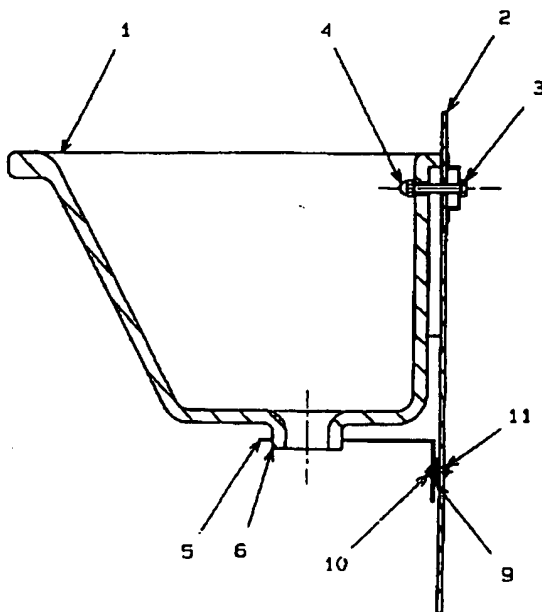
43 股部 44 長穴 45 スカート部

【図7】



50 シンク 51 スカート部

【図8】



【図9】

